



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 通信
 2008年10月31日号 No.72

'みなさんをいつもまんやかに、

区議団控室：5803-1317（直通）
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355

メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

文教委員会として初めての委員会視察に参加しました

**森鷗外ゆかりの小倉、津和野町の生家と
 記念館を訪問、視察してきました**



（総選挙が近いのに、ほんとうに委員会視察を行うのかな？） そんな心配をよそに、先週の22、23日に区議会文教委員会

としての行政視察のため、北九州市、島根県津和野町を訪問しました。

この間の文教委員会で論議されている「(仮称)森鷗外記念館」建設との関係で視察が必要、という判断での、数年ぶり（と聞きました）の委員会視察でした。

初日は北九州市小倉に。ここは鷗外が2年半ほど暮らした町で、立派な「近代文学館」と鷗外の旧宅を訪ねました。旧宅が現存しているのは確かに魅力です。

翌日は津和野町の「森鷗外記念館」に。こ

れも立派で洗練された施設でしたが、展示物の多くは文京区の鷗外図書館所蔵の「CD」や「レプリカ」です。

二か所を見て改めて感じるのは、やはり鷗外の「本家」は文京区。これからつくる施設は、鷗外研究者にとって価値のある、また区民が気軽に立ち寄れるようなものになるように、知恵をあつめることが大事です。また北九州市立文学館の方が、学芸員が連携をとりながら知識や経験を蓄積させるのが大事」という理由で市の直営で運営している話は、大いに参考にするべき重い言葉でした。



近代文学館（上）と、津和野の記念館の庭と鷗外の生家（右写）真の奥側



**気持ちイイ！！
 稲刈り、イモ掘り**

見事に実った黄金の田んぼを見て一気にストレス解消！という感じでした。26日（「健康まつり」はすみません、行けませんでした）、厚木に稲刈りに行きました。礪川学校の子どもと保護者ら総勢60人余が参加しました。

わたしは既に10年くらい稲刈りに参加していますが、最近の子どもたちは実によく働きます。もちろん、虫を捕まったりカエルと遊んだりしますが、一所懸命です。

田んぼでの昼食はおにぎりと芋煮。これがまた最高です。自然に感謝！

心配された雨もOKでした



まんぢん日記

- 24日 午前中歯の治療。夕方、2件の生活相談を受けました。「法律相談」が不定期になってしまっていることを反省しています。善処します。
- 27日 今週は区役所庁舎内の「赤旗」配達を担当です。22階から地下1階まで配って約40分。こんな時期ですが、結構汗をぬぐいながらやっています。職員のみなさんと顔見知りになれるいい機会です。
- 夜、「将来ビジョン」検討協議会を傍聴。来月には「ビジョン」の方向性を教育委員会が出していくようです。ほんとうに議論が煮詰まったのか…どうか。
- 29日。来年度予算要望書が完成しました。区長に要望書を届けました。